

NPO 法人よこすかシティガイド協会



# 黒船



12号

発行：NPO法人よこすかシティガイド協会

発行日：令和7年 3月31日

責任者：理事長 小舟 浩治

編集：会報編集チーム リーダー 椿 孔平

URL: <https://yokosuka.kankoh-guide.com/>



HP QR コード

## かながわガイド協議会 合同研修会 横須賀で開催

令和6年11月28日に横須賀市浦賀コミュニティセンターにおいて、かながわガイド協議会（以下かな協）主催の合同研修が開催されました。同協議会に加入する19の団体から合計69名の参加者、来賓の神奈川県文化スポーツ観光局観光課の笹野千尋観光プロモーション担当課長、澤村亮主任主事を迎え、当協会が実施を担当しました。

研修開始にあたり、主催者を代表して三村信会長の挨拶、続いて笹野課長より挨拶がありました。笹野課長は、かな協加盟団体の発信力強化のため、スキルアップ研修を4回シリーズで開催したこと、2027年開催の国際園芸博覧会の広報活動として、「観光かながわNOW」に「花のコラム」を掲載したことなどを紹介され、原稿作成に対して感謝の意を表されました。午前中は横須賀開国史研究会会長の山本詔一様に、「文明開化と浦賀造船所」というタイトルで講演を行っていただきました。

講演は浦賀が戦国時代の末期（1570年頃）後北条氏の水軍基地として始まり、江戸時代初期には国内商業港として栄えたことから



研修会場の様子

船大工、鍛冶屋、櫓屋など、船を整備する職人集団が居住しており、明治になって造船所として栄える要素が整っていたとの紹介がありました。こうした町の起りから近代的な造船所の町に至る長い歴史を1時間40分、休憩時間も取らずに一気に話していただきました。午後は浦賀ドックと浦賀郷土資料館ツアーを8班に分かれて実施しました。遠くから参加されたかな協団体メンバーの皆様には、講演と現地ツアーで、浦賀ドックを満喫していただけたのではないかと思います。（理事長 小舟浩治）

## 忘年会

12月18日、よこすかシティガイド協会の令和6年度忘年会をセントラルホテルで開催いたしました。ご多忙中にもかかわらず、上地横須賀市長をはじめ日頃大変お世話になっている皆様にもご来賓として参加いただきました。

小舟理事長の挨拶に続いて、上地市長の挨拶、観光協会桑原課長の乾杯の発声をいただき会を始めました。歓談の後の余興では、本庁グループの「横須賀海軍工廠歌」合唱、衣笠西海岸グループの「喜びも悲しみも幾年月」合唱と小松原さんの「赤白旗揚げゲーム」、さらに久米さんの「開運干支占い」と熱演が続き大いに盛り上がりました。恒例のビンゴゲームの後は、椿副理事長の一本締めで、ご参集の皆様のお来年のご活躍を祈念して無事お開きとなりました。（篠原 均）



## ■横須賀の名所紹介（第五回）

### 浦賀の見どころ（その②）

江戸時代、浦賀は干鰯問屋、廻船問屋で商人の町、相模国では小田原に次いで栄えた地域で、今回は鍔絵と彫刻を紹介します。

#### □鍔絵（漆喰彫刻）

鍔絵（こてえ）は日本の伝統的な装飾技法の一つ、鍔（こて）と漆喰で作り上げた作品を鍔絵と呼び、江戸中期から昭和初期に培われた手法で立体的な彫刻風にする技である。

浦賀のまちでは左官職人も多く、川間に住む石川善吉は鍔絵の名人で、伊豆（松崎町）の長八（入江長八）、三浦の善吉と云われ全国に知られていた。

石川善吉の息子吉蔵、梅尾、また、岩田辰之助、徳太郎兄弟、角崎重次郎、辰巳忠志などの作品が現存している。

鍔絵の道具「こて各種」



#### 鍔絵



#### ☆屋外で見学可能な場所☆

- ・八雲神社（東浦賀） 向拝に「龍」
- ・法幢寺（東浦賀） 本堂軒下に「唐獅子」
- ・東福寺（西浦賀） 本堂向拝に「牡丹に唐獅子、龍、遊女普賢、浪に亀、鶴、唐獅子、迦陵頻伽、牡丹に唐獅子」
- ・大六天神社（西浦賀） 正面戸袋に「昇り龍、降り龍」
- ・川間町内会会館（西浦賀） 切妻壁に 2階「鳳凰」1階「松竹梅と鶴亀」
- ・西叶神社（西浦賀） 社務所玄関欄間に「中国の故事に縁る装飾壁」瓶割

#### ☆本堂内で見学可能な場所☆

- ・常福寺（西浦賀） 本堂内陣欄間壁に「牡丹に唐獅子（阿吽一對）、月影杏葉、龍、竹林に虎」内陣背面子壁に「太鼓を奏でる飛天、鶴、笙を奏でる飛天」

**\* 見学時事前に住職の許可を得る \***

#### ☆その他の見学可能な場所☆

- ・郷土資料館（西浦賀）館内に「梅鶏流尾、柿たわわ、龍、降り龍、鶴と牡丹、虎と龍」が展示されている。

#### □彫刻

浦賀のほとんどの寺社では、正面階段の向拝に、龍や中国の故事を描いた彫刻が見られる。

江戸時代後期“安房の名工”と呼ばれた二人の彫工があり、一人は後藤利兵衛橋義光、もう一人が武志伊八郎信由である。

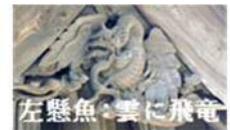
浦賀の寺社に二人の彫工名人の素晴らしい彫刻が残っているので紹介する。

#### ☆屋外で見学可能な場所☆

- ・東耀稲荷神社（東浦賀） 向拝をはじめ、正面、右側面、左側面、背面のすべてに彫刻が施されている。

**\* 彫工は後藤利兵衛一派の作品の説 \***

**\* 本堂内見学時町内会長に許可を得る \***



- ・西叶神社（西浦賀） 向拝の龍をはじめ左右の大棟を担ぐ力神像の彫刻、拝殿の格天井には花鳥の透かし彫りが施されている。

**\* 彫工は後藤利兵衛橋義光の作品 \***

**\* 拝殿内の見学は宮司の許可をとる事 \***



- ・東福寺（観音堂）（西浦賀）向拝の波の上に龍の彫刻が施されている。

**\* 彫工は波の伊八こと武志伊八郎信由の作品 \***

「関東に行ったら波は彫るな」と関西の彫工仲間になんげめつたと言います。



**\* 浦賀に今も残る鍔絵・彫刻作品です \***

**\* 当会でもご案内が可能です \***

（橋 孔平）

2025年度4月から9月までのガイドツアー予定

番号	実施日	企画ガイド名	見どころ	受付締切
2025-1	4/3(木)	桜舞う鎌倉に和田合戦の地を巡る	杉本寺、頼朝法華堂跡、和田塚	3/27(木)
2025-2	4/19(土)	浦賀道見取絵図を巡る・その1 鎌倉から逗子へ	安国論寺、名越切通し	4/11(金)
2025-3	4/23(水)	1200本のツツジ咲く武山から三浦三山をハイキング	東光寺、武山、三浦富士	4/16(水)
依頼ガイド	4/26(土)、27(日)	成臨丸フェスティバル	浦賀ドック、西叶神社、東福寺、東叶神社	当日受付
2025-4	5/15(木)	浦賀道見取絵図を巡る・その2 逗子から新善光寺へ	六代御前墓、花の木公園、新善光寺	5/7(水)
2025-5	5/17(土)	新緑の朝夷奈切通を越え鎌倉へ 報国寺で竹の庭をめぐる	朝夷奈切通、報国寺	5/9(金)
2025-6	5/25(日)予定	小網代の森から道寸祭り 解散後に慈悲見学	小網代の森、三浦道寸の墓、道寸まつり	5/17(土)予定
2025-7	5/28(水)	野比海岸の岩石探しと活断層の見学	野比海岸徒歩、野比東の入公園	5/21(水)
2025-8	6/6(金)	日本遺産「逸見浄水場」見学と旧軍港水道を学ぶ	逸見浄水場、ヴェルニ-記念館スチームハンマー	5/29(木)
2025-9	6/13(金)	発見！三浦半島。滝と棚田をめぐる旅。	早苗の棚田、木古庭の不動滝、立石の不動滝	6/6(金)
2025-10	6/25(水)	浦賀道見取絵図を巡る・その3 新善光寺から衣笠へ	新善光寺、高尾の里、大明寺	6/18(水)
2025-11	9/24(水)	防衛大学校見学と観音崎三軒家砲台跡を訪ねる	防衛大学校、走水展望広場、三軒家砲台跡	9/17(水)
2025-12	9/29(月)	猿島の遠望と無人島上陸	平和中央公園、龍本寺、猿島、記念艦三笠	9/23(火)

浦賀道見取絵図を巡る・全5回シリーズ

2025年度の上期に3回(2025-2, 4, 10)、下期に2回の計5回連続シリーズとして実施します。

その4 : 1月31日(土) 衣笠から大津へ

その5 : 2月21日(土) 大津から浦賀奉行所へ

**浦賀道の概要**：江戸から浦賀奉行所へ通じる浦賀道は、東京湾沿いに南下する東回り、相模湾沿いに進み三浦半島を横断する西回りの二本あった。今回巡る西回りは、東海道戸塚宿からJR横須賀線に沿って鎌倉へと入り鶴岡八幡宮から若宮大路を経て名越切通しを越えて逗子に入る。逗子から葉山へかけては海岸沿いを行き、葉山の元町交差点から内陸に入り、一色の先から山裾の鄙びた道を歩く。その先は上山口、衣笠、公郷を経て大津で東回りの浦賀道に合流。大津からは矢の津坂を超えて浦賀奉行所へ向かう道である。

### 日米親善ベース歴史ツアー

令和6年は春と秋に計4回開催し、全国から約450名の方が参加されました。普段は立ち入ることができない米海軍横須賀基地を見学できる貴重な機会とあって、応募倍率は5倍を超える人気の企画となりました。ツアーはヴェルニー公園の散策から始まり、その後バスで基地内へ移動しました。旧横須賀鎮守府庁舎では、歴代米海軍横須賀基地司令官の写真や往時のモノクロ写真などが展示されており、米軍最高司令官であるバイデン大統領の写真も飾られていました。その後、日本最古の1号ドライドックや、日本最大の空母「信濃」を建造した巨大な6号ドライドックなどを見学しました。締めくくりは、基地内フードコートでのアメリカンフード体験と米兵の方々と



(島森 浩)

のコミュニケーションタイムでした。参加者の質問に米兵の方がユーモアを交えて答え、記念撮影にも快く応じてくれました。特に印象的だったのは、一人の小学生が臆せず英語で質問していたことです。日本の将来が楽しみになる光景でした。

### 旧横須賀鎮守府司令長官官舎

一般公開

終戦までに34代の司令長官が居住された官舎で、現在は海上自衛隊横須賀地方総監部が管理しています。普段は非公開ですが、秋の2日間のみ一般公開されました。この建物は、大正2年(1913)に建設されたもので、美しい庭園に建つ歴史的なもので、内部の調度品やステンドグラスなども見学することができました。入館者は昨年約1,200人を大幅に上回る約2,000人となり、設計者である桜井小太郎の曾孫の方も来場されました。特に初日は、開門前から100名を超える方が列を作り、開門と同時に館内は大混雑となり、嬉しい悲鳴があがっていました。この庁舎の洋館部は、重厚感と優美さを兼ね備えたチューダーゴシック様式であり、各所に



(島森 浩)

日本画の素養とアメリカで習得した技術を融合させた、小川三知の繊細で美しいステンドグラスを鑑賞することができました。また、約100年前に製造されたスタインウェイ社のグラランドピアノによるミニコンサートが開催され、歴史的な空間で奏でられる音楽は特別な体験となりました。

### 大矢部弾薬庫跡見学会

昨年12月17日、市公園管理課と生涯学習課のご協力を得て、大矢部の弾薬庫跡の見学会が開催され、会員29人が参加しました。

ここは戦前には旧陸軍が、戦後には海上自衛隊が弾薬庫として使用していたところで、標高60メートルの丘陵に囲まれた谷戸に数本の隧道弾薬庫があった。近年、弾薬庫の機能が移転し、同地の管轄が防衛省から財務省に移ったことから、横須賀市では公園として整備する方向で調整を進めています。

弾薬庫自体は既に閉鎖されていて見学出来ませんが、同地内には三浦一族のものと言われる「深谷やぐら群」や、魅力的な生態系があり、当会のガイドエリアとして有望であることから見学会を実施させて頂きました。



(富澤 武夫)

当日は晴天に恵まれ、公園管理課の堀江氏から生態系や植生について、また、生涯学習課磯口氏からやぐら群及び円通寺跡の発掘状況などについてレクチャーを受け有意義な見学会となりました。

### 小栗上野介顕彰会様を

記念艦三笠等へご案内

昨年11月16日、ヴェルニー公園においてヴェルニー・小栗祭式典が開催されました。

この式典に参加された小栗上野介顕彰会の皆様と小栗上野介菩提寺東善寺の村上住職様を式典前に「小栗かるた展」、開催中のヴェルニー記念館とヴェルニー公園をご案内いたしました。



(鈴木 孝雄)

また、式典後の午後には記念艦三笠をご案内して感謝されました。なお、東善寺村上住職様には2022年11月に当協会創立20周年記念行事の研修旅行としてバス一台で伺いお世話になっていました。ありがとうございました。